

空は青々

校長室だより 令和6年7月19日 NO. 14 校長 高橋 理香

1学期前半を終えて

7月19日(金)に、夏休みを迎える前の全校集会を行いました。子どもたちは、暑い中にもかかわらず、大変立派な態度で式に臨んでいました。私からは、次のこととお話しました。

なお、保護者の皆様におかれましては、1学期前半、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、大変ありがとうございました。子どもたちにとって、この休みが、健康で安全な夏休みとなりますよう、ご家庭でもお声掛けをよろしくお願いいたします。

令和6年度がスタートして、もうすぐ4ヶ月です。明日からは、いよいよ夏休みが始まります。4月に、私はみなさんに、がんばってほしいことを2つ話しました。1つ目は、No Challenge, No Chance!の気持ちで、いろいろなことに挑戦してほしい、ということ、2つ目は、夢や目標を見つけしてほしい、ということでした。みなさんは、この2つを実現することができたでしょうか。私は、多くの岩中生が、常にNo Challenge, No Chance!の気持ちを持ち、夢や目標に向かってがんばっていたと思います。

はじめに、みなさんの1学期前半を振り返ってみます。今年度は、部活動の任意加入やチャレンジDayの実施など、新たな取組がたくさんありました。その中でみなさんは、夢や目標に近づくために、様々なことに挑戦しました。多くの人が部活動に所属し、運動部は、中総体に向け、仲間とともに一生懸命練習しました。吹奏楽部は、地域移住のモデル事業の一環として、高校生やプロの演奏家と一緒に、すばらしい演奏会を創り上げました。外部の活動に目を向けると、クラブチームなどに所属し、自分の限界に挑戦した人がたくさんいました。中には、この夏休みに全国大会出場を決めた人もいます。自分の想いを作文にまとめ、大会で発表した人もいました。チャレンジDayのときには、地区公民館主催の活動に参加し、ニュースポーツに挑戦した人や、小学生に絵本の読み聞かせをしてくれた中学生がいたと聞きました。学校行事では、体験を通して多くのことを学ぶことができました。中でも、全校生徒が一つになり、前日までの練習を全力でがんばり通した体育祭。学校のリーダーである3年生の姿は、とてもかっこよくて、感動



しました。それ以外にも、毎日の授業、係や委員会活動、応援団などで、自分の可能性を見つけようとしていた人、校長室に英語の勉強にくる3年生もいました。

岩中生、すごいと思いませんか。私は、こんな岩中生が大好きです。みなさんの心の中には、No Challenge, No Chance!の気持ちがしっかりと意識されていました。このような一人一人の取組が、岩中を支えています。その周りには、みなさんを支える多くの人たちの存在があることも忘れてはいけません。ぜひ、一緒に過ごした仲間や家族、先生方にも感謝の気持ちをもってください。私も、みなさんからたくさんの感動と勇気をもらいました。ありがとうございます。

先日、岩出山の城山公園にあるSLを保存し、修繕するための祈願祭に参加しました。SLの保存については、3年生が1年生の時に署名活動をしたということで、生徒会も招待されました。SLを保存する会の代表の方が、自分の志を3つの名言を使ってとえました。その一つを紹介します。アメリカのジョン・F・ケネディ元大統領の言葉です。

「国があなたに何をしてしてくれるのかを問うのではなく、あなた自身が国のために何ができるのかを考えてほしい。」

これは誰かがやってくれるのを待つのではなく、自分には何ができるのかを考えて行動する人になろうという意味です。これからのみなさんには、たくさんの夢や希望が待っています。自分の人生を創り上げるのは自分、岩中を創り上げるのはみなさんです。一人ひとりが夢を追いかけて、夢をつかみとるために、挑戦し続けること、人に頼らず、まずは自分から動き、私たちの岩中をつくりあげていきましょう。みなさんにはその力があります。

最後に、今年はオリンピックイヤーです。7月26日からはパリ・オリンピックが開催されます。ここ宮城からもたくさんの選手がオリンピックに出場しています。みなさんにとっても、可能性はゼロではありません。夏休みは、毎日がみなさんにとってのチャレンジ Day です。勉強、スポーツ、趣味、何か一つでもいいので、夢中になることを見つけ、挑戦してください。もちろん、夏休みですから、自分の体を大切に、自分の命を大事にして、休み休み、じっくりと取り組んでみてください。みなさんにとって、この夏休みが、自分をさらに高めるための充実した充電期間になることを願っています。よい夏休みを！



Ask not what your
country can do for you.
Ask what you can do for
your country.